

一般講演・口頭発表 O-01

香川県の淡水カメの生息状況 — 3年間のカメ調査を通して —

土手政儀・土手政幸 (スマスイ親子調査員)

Records of Freshwater turtles in Kagawa prefecture(2011-2013)

Masayoshi DOTE and Masayuki DOTE (*Sumasui field observer*)

僕は、3歳の頃から亀が好きです。特に、イシガメが好きですが、香川県で野生のものを見ることは、まずありません。県のレッドデータブックでは、『小豆島のごく限られた地域にわずかに生息するのみ』とあり、準絶滅危惧種に指定されています。

須磨海浜水族園の親子亀調査隊を始めて、3年間(2011年～2013年)で香川県高松市周辺の池や川104箇所を調べました。全部で554匹のカメを捕獲し、アカミミガメ47%、クサガメ50%、スッポン2%、イシガメ0.7%、その他の亀(ウンキュウ)0.2%です(表1)。住宅の近くには アカミミガメが多く、山側に行くほどクサガメが多くなっていました。

1年目に、僕は野生のイシガメに、会いたくて、小豆島に行きました。そこには、とても多くのイシガメがいて、驚きました。小豆島では、亀といったらイシガメで、他はあまり見ないそうです。1年目の調査では、香川県本土では、イシガメは見つかりませんでした。2年目、高松市内の栗林公園に行き、ウンキュウ(雑種)と思われる亀を捕まえました。3年目も、栗林公園で高齢のイシガメとウンキュウを1匹ずつ確認しました。ウンキュウがいるということは、やはりイシガメの数が減っていて、DNA汚染が広まっていると考えられるので、対策が必要だと思いました。

3年目の秋、商店街で川魚を売っているところに、イシガメがいました。話を聞くと、僕の家の近くの川で捕まえたそうで、こんなに探してもいなかったイシガメがいた事や、汚い川にいたことにショックを受けました。

僕の調査では、イシガメは、小豆島と栗林公園でしか見つけられませんでした。香川県本土のどこかに生息している可能性があると思われるので、ぜひ、見つけたいと思います。

3年間の調査で、香川県の亀生息状況が段々と分かってきました。さらに詳しい情報を集めてイシガメ保護に役立てていきたいです。

表1. 香川県高松市周辺の池や川104箇所 で捕獲した淡水ガメ(2011年-2013年)

	オス(匹)	メス(匹)	計(匹)	%
アカミミガメ	77	186	263	47%
クサガメ	166	109	275	50%
スッポン		11	11	2%
イシガメ		4	4	0.7%
ウンキュウ(雑種)		1	1	0.2%
合計			554	

※カメの捕獲には、網を用い、網はブルーギルや魚のアラなどを入れて、夕方設置し、翌日の朝に回収しました。